
ヴァーチャルスカイ～空にあこがれた少年少女の栄光録～

診見 観身

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヴァーチャルスカイ〜空にあこがれた少年少女の栄光録〜

【Nコード】

N0737Z

【作者名】

診見 観身

【あらすじ】

VRMMOの世界で、飛び立つ少年と少女のお話。

戦闘機のパイロットになることを夢見た少年が疑似体験でもいいからとVRMMOの世界でパイロットをする。

しかし、うまく操縦する事が出来ずに、四苦八苦して成長していく。

そして、クランに入り、少女たちと出会う。

ちょっと青春なお話です。ハーレムになる予定です。

このお話は、もう一つ執筆中の話のアナザーストーリーです。『

<http://ncode.syosetu.com/n3966>

y/』こちらの方も読んでいただければ、数倍面白くなります。

1 ファーストフライト

空軍に入ろうとして採用試験に落ちて、何もすることがなく。ただ前を歩いているだけだった。

「くそっ！」

近くのゴミ箱を蹴る。

高校を卒業して、父の職業に憧れ、空軍に入ってパイロットになるうといたが、結果は、惨敗。

途方に暮れて、大学にも入らず、浪人生活を目標もなく過ごしていた。

今日も何となく繁華街を通っていた。

「いれどござ」

チラシを配っている男の人からチラシを貰う。

いつもなら無視するのだが、自然に手が動いてしまった。

「何々……どうせロクでもないことしか書かれて………！！！」

上の方には、たいしたことが書いていなかったのだが、下の欄に

「君も、リアルな戦場を駆け抜けよう。もしくは、リアルティたっぷりな空を飛んでみよう！！」
ガン・カウンター・テロ」

「リアルティたっぷりな空を飛んでみよう……か。面白そうだな。」

このチラシを見て、たとえ何でもいいから空を飛ぶ真似事をしたかったと思った。

「VRMMOの名前が、ガン・カウンター・テロ…GCT。時間もあるしやってみるか」

そう思うと勝手に足が動く。

そして、VRMMOが出来る店に向かう。

通称、寝カフェ。

ネットカフェと、VRMMOを寝た姿勢で出来る事を売りとしているお店の事だ。

「VRMMOなんて、久しぶりだな……」

高校の間は、パイロットになりたくて、必死に勉強していた記憶しかなかった。

中学の時に友達に誘われて少しだけやっていたのだ。

小さなカプセルみたいなところの中に入って寝転がる。

そして、カプセルの出入り口をふさいで、頭に輪っかみたいなのをかぶって、目を閉じる。

『転送終了』

青色の部屋へとくる。

ここは、いろいろなVRMMOのルームに移動する事が出来る中継

所だ。

ここで、サイトの検索、移動がおこなえる。

「ガン・カウンター・テロつと、あった。あった。」

ガン・カウンター・テロのサイトに移動する。

『まだIDが作られていません。IDを作成します。個人データ読み込み中』

無機質な声が聞こえてから数分後。

『IDを入力してください。』

「名前ね……俺の名前は、速水はやしみず 空太こいつただから、コウでいいや」

『それでは、コウ様。ようこそGCTの世界へ』

『それでは、簡単にGCTの世界の説明をします。ガン・カウンター・テロは、201X年の日本が舞台です。その世界では、冷戦構造が続いており、ソ連の共産主義側が政府を乗ったことから、事件は始まってしまいました。そのことにより、一部の人たちが反対運動を行い始めましたが、政府側が弾圧を開始し、200X年に虐殺を開始し武力的に反政府の人たちを排除し始めました。そこで、反政府の人たちも米軍の協力のもと運動を介します。そのことで、内戦が勃発し正規軍：政府側の人たちと、解放軍：反政府側の人たちに分かれてしまいました。それぞれのバックには、大国の二つが付き、正規軍はソ連。解放軍には米軍がついて協力しています。都市は廃墟となり、土地が荒れ果ててしまった201X年からこのゲームは始まります。まず最初に、プレイヤーは二つの陣営の内どち

「らかを選んでください。」

「米軍の機体の方がいいから、解放軍…っ」と

コウは、米軍の機体の方が乗りたかったために、解放軍を選択した。

『解放軍を選択しました。』

景色は変わり、アメリカの国旗と日本の国旗がついている部屋へと変わる。

『解放軍にようこそ、コウ様。次に陸上で戦う兵士になるか、空で戦うパイロットになるか選んでください。ただし、パイロットの操縦難易度は、非常に高いので兵士をお勧めします。』

「難しくてもいいから、パイロットで」

『パイロットでよろしいですか？』

再度確認してくる。

「はい、っ」と

『パイロットから兵士に変更は可能です。それでは、パイロットとして、F 5、フリーダム・ファイターが支給されます。』

「F 5。フリーダム・ファイターって、一世紀以上前の機体じゃないかよ。軽戦闘機で低コストなのが初期に支給される理由なのかもな」

自分に言い聞かせる。

F 5 フリーダム・ファイターとは、1960年代から輸出用としてアメリカが開発した軽戦闘機の事だ。マッハ1・5ほどの速さで、主に低速域での運動性能が高い。20?機関砲が二門搭載されている。

ハンガーへと風景が変わる。

『操縦方法の説明を受けますか?』

「めんどくさいし、早く乗りたいから。いいえ、つと」

いち早く戦闘機に乗りたくて気持ち昂る。

『本当によろしいのですか?最初は難しいので、説明を受けるのを推奨します。本当にいいのですか?』

再度確認をしてくる。

「だから、いいって」

『最後に確認をします。』

また、確認をしてきた。

「しつこいな、いいえ。」

『それでは、操縦方法を飛ばしました。初心者任務として、Mig-21を3機を迎撃する任務があります。任務を行けます。』

「それで、いいな。」

Mig-21は、ソ連の戦闘機で、NATO（北大西洋条約機構）からは、フィッシュベッドと呼ばれている。こちらも、1960年代から運用され始める。30mm機関砲が、二つついている。

『それでは、状況はスクランブルがかかるところから始まります。機体に乗って素早く離陸してください。』

しばらく、すると。

『ミッションスタート』

合図とともに、赤いランプが光りだして

『こちら、管制室。レーダーに三機補足。まっすぐこちらの基地に向かってきている模様。迎撃してください。』

「臨場感あるな……それじゃ、処女飛行を大成功させますか。」

F 5 フリーダムファイターに乗る。

「こっちのボタンが確か……それで、操縦桿がこうしてっと、スイッ

チをオンにして」

パイロットに憧れてから、いろいろな本を読んでいたために無駄な知識だけはある。

「よし、エンジンがかかった。」

後ろのジェットエンジンがかかり、少しずつ前に進んでいく。

「操縦桿を横にして」

滑走路の真ん中に来る。

ジェットエンジンが暖まり、炎を上げ始める。

「こちら、コウ。フリーダムファイター発進します。」

ペダルを踏み、どんどん加速していく。

重量《G》が体全身にかかるが、苦しくもなんともなかった。

「おおー意外にいい感じだ。」

そして、離陸できるように、操縦桿を倒す。

「飛べ！」

機体が地面と離れた直後、横風来て若干機体が傾きかける。

「うわー！！ どうすればー！！」

パニックになる。

そして、大きな音と共に目の前が真っ暗になった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0737z/>

ヴァーチャルスカイ～空にあこがれた少年少女の栄光録～

2011年12月2日20時53分発行